

令和元年6月3日付【水道産業新聞】
関東支部 災害支援協定の締結が増加
＜コンサルタントの就業環境改善へ＞

コンサルタントの就業環境改善へ

水コン協 関東支部 災害支援協定の締結が増加

全国上下水道コンサルタント協会関東支部（支部長＝菅伸彦・オリジナル設計社長）は5月15日、都内で第9回通常全体協議会を開き、令和元年度事業計画と予算、幹事の辞任にともなう役員

の選任などの議案を了承した。



菅支部長

全国上下水道コンサルタント協会の緊急点検に大型の予算が確保されたが、当協会でも、公益法人化による認知度の向上効果も相まって、災害支援協定の締結を望む公共団体が増加している。改正水道法の成立により、水道の基盤強化に向けた道筋が示されたが、水コンサルタントに求められる役割を認識し、皆で研鑽に励み、期待に応えていきたい。4月の働き方改革関連法案施行を受け、コンサルタントの就業環境改善を発注者への『要望と提案』事項の第一とした。社会の要請に従った公益法人の活動を通じ、

協会と会員のプレゼンスや社会的信頼性が向上し、経営的にも優位な活動が展開されるものと期待している」とあいさつした。

今年度は、コンサルタントの就業環境改善に向

けた施策の実施を基本方針の第一に挙げ、具体的には、適切な工期の確保や、ウィークリースタンスの実施などを求める。また、改正品確法と運用指針を踏まえた多様な入札契約制度の導入や、発注内容の明確化など、コンサルタントの健全な発展と業務成果の品質確保に向けた配慮についても引き続き要望する。

関東支部としても、技術講習会や若手研修会などを通じて、時代の変化に対応し、発注者の多様な要望に応えるコンサルタントの育成と次代を担う優れた人材の確保に取り組む、支部活動を広報する効果的な方法についても検討していくとした。